

一親の相続経験者の4割超が「相続手続き完了まで半年以上」、 半数超が「親の生前準備は特になかった」と回答－ J:COM が「親の相続経験に関する実態調査」を実施

JCOM株式会社(J:COM、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岩木 陽一)は、直近5年以内に親の相続を経験した人(30代～60代の男女)を対象に「親の相続経験に関する実態調査」を実施しました。この調査から、相続手続きの実態や生前の準備状況、相続経験後の意識などが明らかになりました。

<背景>

高齢化が進む中、相続は多くの人が直面する重要な節目となっています。また、近年は金融資産の多様化やオンラインサービスの普及などにより、相続において確認・整理すべき事項も増えています。しかし、実際に親の相続を経験した人がどのような負担や苦労を感じたのか、生前にどのような準備がされていたのかについては、十分に知られていません。そこでJ:COMは、直近5年以内に親の相続を経験した30代～60代の男女を対象に、「親の相続経験に関する実態調査」を実施しました。

<調査サマリー>

- ・直近5年以内に親の相続を経験した人の4割以上が、親の相続手続きの完了までに「半年以上」がかかったと回答
- ・親の相続において主に大変だったことや苦労したことは、「役所や金融機関などでの各種手続き」や「戸籍謄本等の必要書類の収集・取り寄せ」
- ・直近5年以内に親の相続を経験した人の6割弱が、親の相続において有償で専門家へ「依頼した」と回答
- ・直近5年以内に親の相続を経験した人の約6割が、親の生前に相続や財産について「十分に話し合う機会がなかった」と回答
- ・直近5年以内に親の相続を経験した人の半数以上が、親の相続を振り返り、親が生前に行っていた準備は「特になかった」と回答
- ・親の相続を振り返り、生前に行っておく必要があったと主に考えることは、「実家の片付け・不用品の処分」や「相続について家族で話し合う機会を設けること」

<調査概要>

調査期間：2026年7月24日～7月26日

調査方法：インターネット調査

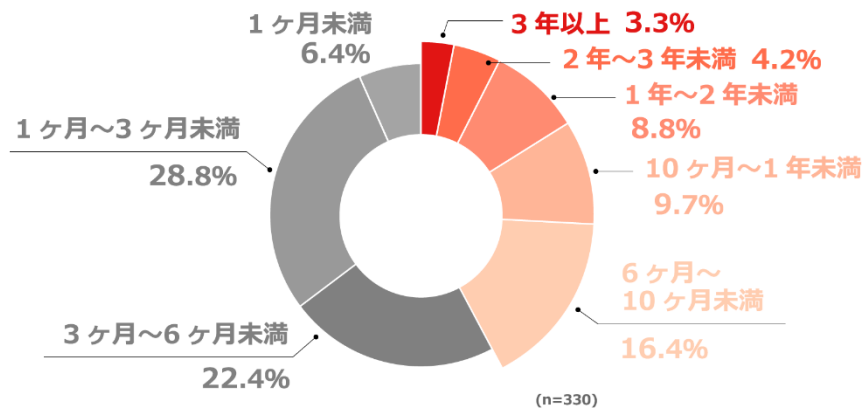
調査対象：直近5年以内に親の相続を経験した人(30代～60代の男女)

調査人数：330名

モニター提供元：RCリサーチデータ

※回答比率は小数点第二位を四捨五入しているため、回答比率の合計は100.0%にならない場合があります。

親の相続手続きの完了までにかかった期間はどのくらいですか。



調査期間：2026/7/24-2026/7/26・調査方法：インターネット調査・調査人数：330名
調査対象：直近5年以内に親の相続を経験した人（30代～60代の男女）・モニター提供元：RCリサーチデータ

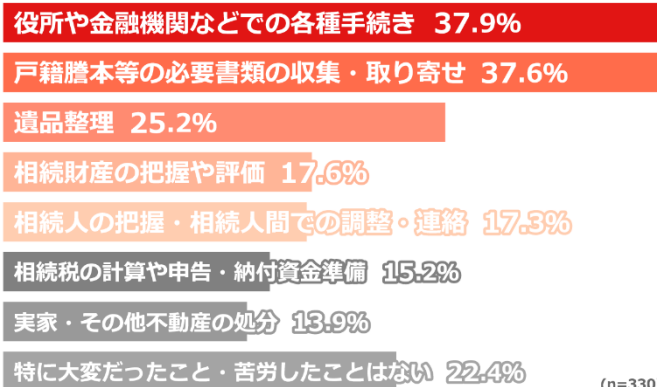
J:COM

直近5年以内に親の相続を経験した人の4割以上が、親の相続手続きの完了までに「半年以上」かかったと回答

「親の相続手続きの完了までにかかった期間はどのくらいか」を尋ねる設問への回答では、1位が「1ヶ月～3ヶ月未満」で28.8%、2位が「3ヶ月～6ヶ月未満」で22.4%、3位が「6ヶ月～10ヶ月未満」で16.4%という結果になりました。「6ヶ月以上」という各回答の比率を合計すると42.4%となり、この結果から、直近5年以内に親の相続を経験した人の4割以上が、親の相続手続きの完了までに「半年以上」かかったことが判明しました。

親の相続において大変だったことや苦労したことは何ですか。（複数回答可）

※上位8項目を抜粋して表示



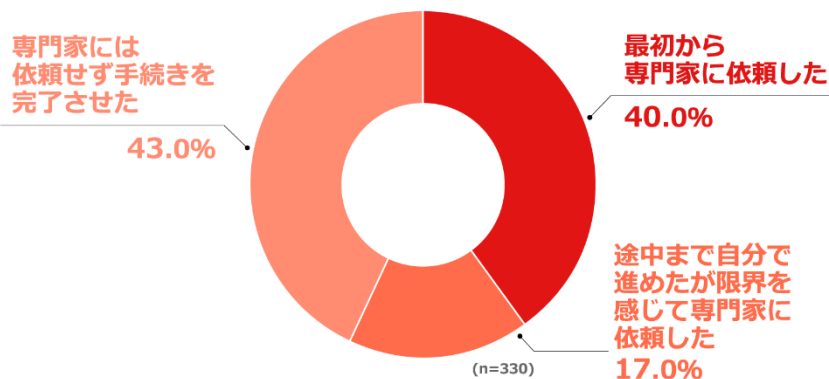
調査期間：2026/7/24-2026/7/26・調査方法：インターネット調査・調査人数：330名
調査対象：直近5年以内に親の相続を経験した人（30代～60代の男女）・モニター提供元：RCリサーチデータ

J:COM

親の相続において主に大変だったことや苦労したことは、「役所や金融機関などでの各種手続き」や「戸籍謄本等の必要書類の収集・取り寄せ」

「親の相続において大変だったことや苦労したことは何か」を尋ねたところ、1位が「役所や金融機関などでの各種手続き（開所時間の短さ、専門用語・制度理解を含む）」で37.9%、2位が「戸籍謄本等の必要書類の収集・取り寄せ」で37.6%、3位が「遺品整理」で25.2%という結果になりました。

親の相続において、有償で
専門家（税理士・司法書士等）へ依頼しましたか。



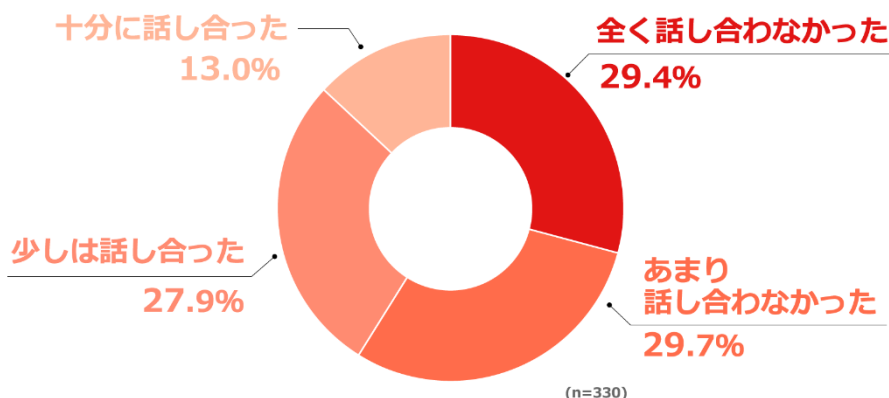
調査期間：2026/7/24-2026/7/26・調査方法：インターネット調査・調査人数：330名
調査対象：直近5年以内に親の相続を経験した人（30代～60代の男女）・モニター提供元：RCリサーチデータ

J:COM

直近5年以内に親の相続を経験した人の6割弱が、親の相続において有償で「最初から専門家へ依頼した」または「途中で自ら手続きを進めながらも限界を感じて専門家へ依頼した」と回答

「親の相続において、有償で専門家（税理士・司法書士等）へ依頼したか」を尋ねたところ、1位が「専門家には依頼せず手続きを完了させた」で43.0%、2位が「最初から専門家に依頼した」で40.0%、3位が「途中で自分で進めたが限界を感じて専門家に依頼した」で17.0%という結果になりました。「専門家には依頼せず手続きを完了させた」という回答が最も多い一方で、2位と3位の各回答の比率を合計すると57.0%となり、この結果から、直近5年以内に親の相続を経験した人の6割弱が、親の相続において有償で「最初から専門家へ依頼した」または「途中で自ら手続きを進めながらも限界を感じて専門家へ依頼した」ことがわかりました。

親の生前に相続や財産について
話し合う機会はどの程度ありましたか。



調査期間：2026/7/24-2026/7/26・調査方法：インターネット調査・調査人数：330名
調査対象：直近5年以内に親の相続を経験した人（30代～60代の男女）・モニター提供元：RCリサーチデータ

J:COM

直近5年以内に親の相続を経験した人の約6割が、親の生前に相続や財産について「話し合う機会がなかった」と回答

「親の生前に相続や財産について話し合う機会はどの程度あったか」を尋ねたところ、1位が「あまり話し合わなかった」で29.7%、2位が「全く話し合わなかった」で29.4%、3位が「少しは話し合った」で27.9%という結果になりました。1位と2位の各回答の比率を合計すると59.1%となり、この結果から、直近5年以内に親の相続を経験した人の約6割が、親の生前に相続や財産について、「十分に話し合う機会がなかった」と回答していることが判明しました。

親の相続を振り返り、 親が生前に行っていたものは何ですか。(複数回答可)

※上位 8 項目を抜粋して表示



(n=330)

調査期間：2026/7/24-2026/7/26・調査方法：インターネット調査・調査人数：330名
調査対象：直近 5 年以内に親の相続を経験した人（30 代～60 代の男女）・モニター提供元：RC リサーチデータ

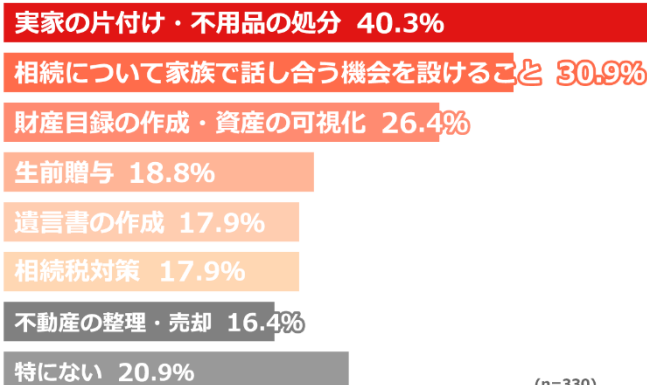
J:COM

直近 5 年以内に親の相続を経験した人の半数以上が、親の相続を振り返り、親が生前に行っていた準備は「特になし」と回答

「親の相続を振り返り、親が生前に行っていたことは何か」を尋ねたところ、1 位が「特になし」で 52.1%、2 位が「相続について家族で話し合う機会を設けること」で 13.9%、3 位が「実家の片付け・不用品の処分」で 12.4%という結果になりました。この結果から、直近 5 年以内に親の相続を経験した人の半数以上が、親の相続を振り返り、親が生前に行っていた準備は「特になし」と回答したことがわかりました。

親の相続を振り返り、生前に行っておく 必要があったと思うことは何ですか。(複数回答可)

※上位 8 項目を抜粋して表示



(n=330)

調査期間：2026/7/24-2026/7/26・調査方法：インターネット調査・調査人数：330名
調査対象：直近 5 年以内に親の相続を経験した人（30 代～60 代の男女）・モニター提供元：RC リサーチデータ

J:COM

親の相続を振り返り、生前に行っておく必要があったと主に考えることは、「実家の片付け・不用品の処分」や「相続について家族で話し合う機会を設けること」

「親の相続を振り返り、生前に行っておく必要があったと思うことは何か」を尋ねたところ、1 位が「実家の片付け・不用品の処分」で 40.3%、2 位が「相続について家族で話し合う機会を設けること」で 30.9%、3 位が「財産目録の作成・資産の可視化」で 26.4%という結果になりました。

この結果から、親の相続を振り返り、生前に行っておく必要があったと主に考えることは、「実家の片付け・不用品の処分」や「相続について家族で話し合う機会を設けること」であることがわかりました。また、前問の「親の相続を振り返り、親が生前に行っていたことは何か」を尋ねる設問への回答結果と比較すると、上位 2 項目に変動はないものの、本設問で 3 位の「財産目録の作成・資産の可視化」は、前問では 7 位(9.4%)に留まっています。この結果から、「財産目録の作成・資産の可視化」は、親が生前に行っているケースは少ない一方で、相続経験後に、その必要性を感じる人が多い項目であることがわかりました。

まとめ

本調査から、親の相続手続きには長い期間と多くの苦労を伴う実態が明らかになりました。

生前に十分な準備ができれば望ましいものの、高齢になってからの準備は心理的・身体的な負担も大きく、必ずしも容易ではありません。その結果、相続人である子ども世代に大きな負担がかかるケースもあります。専門家への依頼にハードルを感じる方もいる一方で、仕事や家事、育児、介護と並行して相続手続きを進める負担を考えると、専門家の力を借りることも有効な選択肢といえます。

こうした課題に対し、JCOM 株式会社の「J:COM 相続そうだん」は、相続の不安を軽減し円滑な解決へ導くためのサービスです。初期段階の疑問を解消する無料のコンシェルジュ相談や専門家紹介などの充実したサポート体制により、ご自身の状況に応じた最適な解決策をご提案します。複雑な相続において「次取るべき行動」を明確にすることで、ご遺族の負担軽減と安心できる相続環境の実現に貢献します。

調査実施会社

JCOM 株式会社

所在地: 東京都千代田区丸の内 1-8-1 丸の内トラストタワーN 館

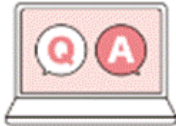
代表取締役社長: 岩木 陽一

事業内容: ケーブルテレビ局の統括運営を通じた有線テレビジョン放送事業及び電気通信事業、ケーブルテレビ局及びデジタル衛星放送向け番組供給事業統括 等

URL: <https://www.jcom.co.jp/>

J:COM 相続そうだん <https://www.jcom.co.jp/service/so-zoku/>

JCOM 株式会社が提供する「J:COM 相続そうだん」は、相続に関するさまざまな悩みをサポートするサービスです。経験豊富なコンシェルジュにオンラインで気軽に無料相談できる点が特長です。J:COM のサービス利用者に限らず、どなたでもご利用いただけます。Web 上で簡単な質問に答えるだけで、相続のチェックポイントがわかる相続かんたん診断も提供しています。

サービス 1  みんなのお悩みQ&A 相続の疑問やお悩みについて、 専門家の回答や、体験談などから学べます。	サービス 2  コンシェルジュ相談 経験豊富なコンシェルジュが お悩みを伺います。
サービス 3  相続かんたん診断 簡単な質問に答えるだけで、 相続のチェックポイントが分かります。	サービス 4  お悩みに合わせた 提携事業者をご紹介します ※提携事業者によるサービスのご利用は有料。